

## 自己評価報告書

平成23年5月18日現在

機関番号：33920

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2008～2012

課題番号：20390578

研究課題名（和文）：地域の保健医療施設に対する院内感染対策の向上をめざす支援プログラムの開発と評価

研究課題名（英文）：Development of support program by periodical interventions aimed at improving the infection control system in long-term care health facilities and hospitals

研究代表者：土井まつ子（DOI MATSUKO）  
愛知医科大学・看護学部・教授

研究者番号：00155615

研究分野：看護学、感染看護学

科研費の分科・細目：看護学・ 地域・老年看護学

キーワード：（1）衛生 （2）看護学 （3）感染症 （4）感染管理 （5）微生物

## 1. 研究計画の概要

## (1) 感染対策支援プログラムによる介入

平成20年度から23年度においては、以下のプログラムを1施設につき1年間継続して提供する。3年間で計10施設以上への支援を行う。支援の内容：①現場視察によるコンサルテーション、②感染症サーベイランスの導入、③環境調査と施設へのフィードバック、④問題となる感染症発生時の細菌学的検討と疫学分析、⑤教育・啓蒙等の学習支援

## (2) 支援プログラムの評価:

平成23年1月から24年3月までに、①調査票の作成とプレテストを実施する。②施設の感染対策の評価と支題の明確化を行う③支援実施後に支援プロセスについて評価する。

## (3) 支援モデルの作成

支援の効果を分析し、地域の医療機関等への支援モデルを提案する。

## (4) 研究のまとめ・公表

平成24年末までに研究結果をまとめ、学術誌等への発表を行うとともに、研究成果をホームページへ掲載する。

## 2. 研究の進捗状況

## (1) 平成20年度～平成21年度

対象となる医療機関への研究協力依頼、倫理審査申請、調査票の作成を行い、調査票のプレテストを実施した。

## (2) 平成21年度～平成23年度

平成21年度は5施設に対して、平成22年度には新たな5施設を追加して支援プログラムを実施した。プログラム開始前、開始直後、

半年から1年後の3回にわたって調査票による調査を行い、その結果を各協力施設へフィードバックした。研究支援を中断した1施設を除く9施設に対して感染対策支援プログラムを実施できた。なお、平成20年度に調査票を開発した結果を関係の学術学会に発表した。

## (3) 平成23年度以後

## ①支援プログラムの評価

9施設中、8施設については、支援の効果が認められ、各施設の感染対策が向上していた。1施設は支援直後の評価が実施できなかったため、プログラムの効果について評価できなかった。なお、平成21年度に支援を実施した4施設については、支援終了から半年後の調査を終え、現在解析中である。

## ②研究中に得た新たな知見

施設の環境細菌の調査結果から、環境の汚染源であった真菌を特定し解析したところ、その真菌の新たな性状が認められた。その解析結果を関係学会に発表した。

## ③研究成果物の公開

本研究の成果物の一部である教育内容を愛知感染予防ネットワークの研修会で講演している。またこのネットワークを介して研究協力施設を募集してきたことから、愛知医科大学内のホームページに、愛知感染予防ネットワークのホームページを開設し、研修会の内容と学会への発表内容を掲載した。現在はこのホームページの学外公開のための申請準備の段階にある。

## ④平成23年度における研究協力施設の募集

と支援計画

新たな3施設に対して、研究概要の説明を実施したところである。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

(理由)

平成22年度までに、当初の研究計画の目標である10施設に対して支援を実施した。施設側の理由で中断した1施設を除く9施設についてはプログラム支援と調査が完了できた。また、平成23年度には新たな施設に研究協力依頼ができる見込みである。

4. 今後の研究の推進方策

当初の研究計画に沿って進展しているので、今後は、研究結果の解析と研究成果の公表をめざして研究を進める予定である。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計0件)

[学会発表] (計2件)

① 中川 善之、土井まつ子、八島妙子、篠田かおる、近藤陽子、三善郁代、諏訪美栄子、脇本寛子、高橋知子、橋本真紀代、老健等の浴室シャワーチェアから検出される真菌の残存性について、第26回日本環境感染学会総会、2011年2月18日、神奈川。

② 脇本寛子、近藤陽子、土井まつ子、加藤由紀子、篠田かおる、八島妙子、高橋知子、諏訪美栄子、橋本真紀代、三善郁代、中川善之、地域医療機関等に対する感染対策支援のための調査票作成の試み、第25回日本環境感染学会総会、2010年2月5日、神奈川。

[図書] (計0件)

[産業財産権]

○出願状況 (計0件)

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

出願年月日：

国内外の別：

○取得状況 (計0件)

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

取得年月日：

国内外の別：

[その他]